



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしょう

No. 355

令和6年11月29日（金）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/misho/>



「仲間」のいる尊さを学ぶ

校長 後藤 正美

谷川俊太郎さんが、今年13日にご逝去されたという報道がありました。心に響く詩や楽しい詩が多くあり、何度となく授業でも取り上げた小学校教師にとって忘れられない詩人です。右は、「ともだち」という絵本にある詩です。和田誠さんの温かな絵も素晴らしく、手に取って全文を読んでいただきたいおすすめの一冊です。

「ともだち」と似た言葉に「仲間」があります。友達が、「目的がなくとも連絡し合える関係」であるならば、仲間とは、「同じ目標に向けて協力し合える関係」と言えます。小学校生活では、成長によって変化していく友達関係の経験は大切。同様に、日頃は一緒に遊ばなくても、目標に向かって協力し合う仲間のよさを体感することも、同じくらい重要です。これからの社会では、仕事上で協力し合える仲間をつくる力は、ますます重要だと思うからです。大人は、わが子の友達関係を気にしがちですが、目標に向かって人と協力し合える心が育っているかどうかにも、気を配る必要があります。

上の写真は、2年生生活科の「ちゃいさんマーケット」の実践です。カラスに襲われながらも大切に育てた大根を、モルモットのちゃいさんのために販売することを考えた子供たち。「ちゃいさんのおやつ、チモシー、ブラシ、水飲みボトル…」と、売上金による夢は膨らみます。見附子育て教育の日には、盛大に販売が行われました。

「いろいろなところをまわってチラシをくばりました。そのけっか、おきやくさんがえがおになってよかったです。」

「大きな声でせんでんしてチラシをわたせたこと。知らないおうちの人でも、いやがらずにチラシをわたせました。」

子供たちの感想を読みましたが、目標に向かって協力し合い、達成できた満足感や熱量が伝わってきました。こうした活動を通して、仲間のいる尊さを学ぶのだと思うのです。学校は、失敗してもよいところ。やり直ししながら学ぶところです。発達段階に応じたかかわり合いを通して、心の成長につなげる12月にしましょう。

ともだちって
かぜがうつっても
いってくれるひと。
ともだちって
いっしょにかえりたくなるひと。
すきなものがちがつても
ともだちはともだち。
だれだって
ひとりぼっちでは
いきでゆけない
ともだちって
すばらしい。
谷川俊太郎